

Soccer News Shiga

2023.10.30

発行 (公社)滋賀県サッカー協会
 責任者 吉田 和弘
 〒524-0212 滋賀県守山市服部町2439番地
 TEL:077-585-0982/FAX:077-585-0983
 e-mail:shigafa@oregano.ocn.ne.jp
 http://www.shigafa.com
 印刷：スペース工房

天皇杯～Jリーグへ

..... (株)MIOスポーツ 専務取締役 内林 広高

やはりJ1の壁は厚かった。力の差は歴然だった。
 滋賀県代表として天皇杯に出場させて頂き、アルビレックス新潟と対戦した感想です。

JFLで好調を維持し、選手達も自信をもって臨んだ一戦でしたが0-1で敗退し、得点差以上の実力差を感じる試合となりました。

しかし、今年の大会ではHATOスタジアムでの一戦でチーム発足以来初となるJリーグチームに勝利するという快挙を成し遂げたことは、チームが確実に強くなっているという実感が得られたとともに、J参入に向けた機運という意味でも大きな意味を持つと考えます。

結果としては2回戦敗退となりましたが、天皇杯に滋賀県代表として出場させて頂いたおかげで、J3、J1とJ



リーグチームと2度も対戦させて頂き、今、チームが目指すもの、そして必要なチーム力を再度見つめ直す非常に良い機会を頂きました。

今大会の経験を糧に、更にチームを強化し、目標とするJリーグ参入に向けて邁進したいと思っております。



【1回戦】 5/21 (平和堂HATOスタジアム)
レイラック滋賀 2-1 アスルクラロ沼津
 (滋賀代表) (静岡代表)

【2回戦】 6/7 (デンカビッグワンスタースタジアム)
アルビレックス新潟 1-0 レイラック滋賀
 (J1) (滋賀代表)

翔び立て若き翼 北海道総体2023を終えて

..... 近江高校 市川 兼伍

2023年7月29日より北海道で開催された全国高校サッカーインターハイに4年ぶり3回目の出場となりました。1回戦からのスタートとなり、対戦校は東京都代表の成立学園。T1リーグでは上位、また、200校近くが集まる都予選を勝ち抜いたこともあり、実力と粘り強さを兼ね備えたチームです。序盤は成立学園がボールを動かして流れを作りましたが、近江も前への推進力で反撃することができ、前半32分には右サイドでエリア内へ侵入した選手が倒されPKを獲得、これを決め先制。しかし、35+2分に成立学園の左サイドから一気に加速され、飛び出したGKもかわされ失点。1-1で前半を折り返しました。後半は左サイドからのクロスに対して、もつれたDFに当たったボールが入

り、2-1。主導権を握りますが、後半34分に直接FKで失点してしまい、2-2と土壇場でスコアを振り出しに戻されてPK戦へ。PK戦では1本目を外してしまい、相手チームはその後全てを決めて4-5で敗戦となりました。滋賀県代表として勝利という結果につなげることができなかったことを非常に悔しく思っております。最後になりましたが、近江高校を日頃からご支援いただいております、滋賀県サッカー協会をはじめ、多くの指導者、関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。



第19回全日本大学フットサル大会を終えて

立命館大学 A | 1.1 代表 酒井 裕和

2023年8月25日から27日に大阪府の岸和田市総合体育館にて行われた、第19回全日本大学フットサル大会に出場しました。1回戦は信州代表の信州大学、2回戦では北海道代表の北海学園大学、準決勝では開催地代表の大阪成蹊大学、3位決定戦では四国代表の松山大学と対戦させて頂きました。春の全国大会では見事優勝を獲得することができ、全国大会2連覇を目指して夏までの取り組みを行ってきました。

迎えた大会当日、体育館に響き渡る応援のもと、最高の雰囲気で行われると、1回戦、2回戦では苦戦しながらも得点を重ね、準決勝へと駒を進めることができました。準決勝の大阪成蹊大学は春の全国大会決勝の相手であり、ライバル心とプライドをもって挑みましたが力及ばず、準決勝で敗退となりました。翌日の3位決定戦では勝利し、引退する4回生のラストマッチを勝利で飾ることができました。

昨シーズン開始からの1年半は、それまで務められていた監督のご退任により、学生のみでのチーム運営、技術指導、試合での采配など様々な面で困難の連続でした。そういった中で、日本一という目標に



向き合い、日々進化を続けた選手、関係者の皆様のおかげで全国大会3位という結果を手にすることができました。

また、今後もチームの悲願である日本一という目標は変わらずに、後輩たちが受け継いでくれると考えています。滋賀県、そして関西の代表として、優勝という結果を持ち帰ることができなかったことを悔しく思っておりますが、今大会で垣間見えた大学フットサルの更なるレベルの向上、全国大会という大舞台で真剣勝負を繰り広げられる喜び、この3日間で得た経験や反省を活かし、今後もチームとして精進していきたいと思っております。

最後になりましたが、立命館大学フットサル同好会 All.1 を日頃からご支援いただいております、滋賀県サッカー協会、フットサル連盟をはじめ、多く関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

第19回全日本大学フットサル大会

2023年8月26日

大阪成蹊大学
フットサル部
(開催地代表/大阪府)

4-0

立命館大学フットサル
同好会オールワン
(関西地域第1代表/滋賀県)

2023年8月27日

立命館大学フットサル
同好会オールワン
(関西地域第1代表/滋賀県)

3-2

松山大学
フットサル部
(四国地区代表/愛媛県)

JFA 第10回全日本U-18フットサル選手権大会を終えて

近江高校

近江高校は、関西地区代表として3年連続3回目の出場になります。今大会は、8月3日から6日までの期間、静岡県浜松市の浜松アリーナにて開催されました。

大会1日目の予選グループリーグで、フウガドールすみだファルコンズ(東京都)と対戦し0-8で敗戦、エンフレンテ熊本フットサルU-18(熊本県)に10-2で勝利、大会2日目の予選グループリーグで、名古屋オーシャンズU-18(愛知県)と対戦し2-2と引き分け、1勝1敗1分となりました。

結果、近江高校と名古屋オーシャンズU-18(愛知県)の2チームが勝ち点で並びましたが得失点差により、予選グ



ループリーグ敗退となりました。

予選グループリーグ敗退となりましたが、Fリーグの下部組織のフットサル戦術に対して苦しみながらも、大会を通してチームスローガン「Be Pirates」のもと、近江高校らしく果敢に勝利のために戦い、試合を重ねるごとに成長しながら、一戦一戦最後まで力強く戦ってくれました。

最後になりましたが、大会出場に際しまして、滋賀県サッカー協会をはじめ多くの方に応援やサポートして頂き、このような貴重な経験が出来たことを心より感謝申し上げます。

JFAバーモントカップ第33回全日本U-12フットサル選手権大会を終えて

..... アミティエスポーツクラブ草津 若松 航平

8月8日～10日に開催されたJFAバーモントカップ第33回全日本U-12フットサル選手権大会に滋賀県代表として初出場しました。1次ラウンドではグループに入り、岐阜県代表の西濃シティとの初戦では5-5の引き分けとなり勝ち点1を獲得することができました。続いて高知県代表のFCソレアード高知との2戦目では3-2で勝利し勝ち点3を獲得、富山県代表の住吉サッカースポーツ少年団との3戦目では10-0で勝利し勝ち点3を獲得、合計勝ち点7となり得失点差の結果グループ1位で決勝ラウンドに進出しました。ラウンド16では大阪府代表のドリームFCと対戦しましたが3-6で敗戦となり、クラブとして初めての全日本U-12フットサル選手権大会はベスト16という結果で終了しました。

サッカーとは異なるルールや戦術、システムに苦戦しながらも選手たちは全国大会とい

う舞台で堂々と戦ってくれました。大会を通じて総得点21という結果は、選手たちにとって大きな自信に繋がりました。また大会参加を通じてフットサルの普及に携わることができ、クラブとしても大きく成長させていただきました。

今回の反省や経験を活かし、12月に開催される全日本U-12サッカー選手権大会出場に向けて選手と一緒に努力を重ねてまいります。また来年度も同じ舞台に立てよう「No, Fun No, Football」「常昇・常勝・常笑」

をモットーに、世界に通用する選手の育成を目的として日々成長していきたいと思っております。

最後に今回の全国大会出場に際して、多くのご支援とご協力を賜りました滋賀県サッカー協会をはじめとする多くの皆さまに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



JFL昇格をかけて争う社会人サッカーの全国大会が滋賀県で開催

2023年 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ 1次ラウンド
2024年 第60回全国社会人サッカー選手権大会
(わたSHIGA輝く国スポリハーサル大会)



..... 滋賀県サッカー社会人連盟 光吉 英宣

全国地域サッカーチャンピオンズリーグは、全国9地域リーグ(北海道・東北・関東・北信越・東海・関西・中国・四国・九州)から上位1チームずつ、全国社会人サッカー選手権大会の上位チームなどから3チームの計12チームでJFL昇格をかけて争うサッカー大会です。12チームを3ブロックに分け1次ラウンド、各組1位と2位の最上位による4チームでリーグ戦方式による決勝ラウンドが行われ、優勝、準優勝チームがJFL参入権を獲得できます。

その1次ラウンドが2023年11月10日・11日・12日に彦根の平和堂HATOスタジアムで開催されます。

また、2024年10月には国スポ大会のリハーサル大会として第60回全国社会人サッカー選手権大会が開催

予定です。(会場 守山市・東近江市・大津市・甲賀市)全国の地域予選を勝ち抜いた32チームのノックアウト方式で連続5日間開催されます。

全国9地域リーグで上位を逃したチームも大会上位3チームに地域サッカーチャンピオンズリーグへの出場権が与えられるため、全国大会優勝を目指すだけでなくJFL昇格を目指すチームにとっては重要な大会となります。

何れの大会も、社会人サッカー大会の最高峰の大会です。

入場は無料ですので、国スポ大会を前に熱い戦いをぜひご観戦ください。

FAコーチ（技術担当専任者）として2年目の活動

FAコーチ 森村 紀夫

昨年よりFAコーチとしての活動をスタートし、今年度も4月当初から各種別や各カテゴリーの活動現場で、指導者の方や選手とコミュニケーションを図らせていただいております。就任からまだ日は浅いですが、これまでにFAコーチに課せられた業務である、①指導者養成 ②育成 ③普及 ④登録指導者フォロー／登録チームの巡回指導 ⑤差別・暴力・暴言の根絶 ⑥女子 ⑦学校部活動支援 ⑧トレセン活動の整備、など現場に足を運ぶことで現状の把握に努め、「滋賀のフットボールファミリーがサッカーで幸せになる」ための方策をあれこれ考える日々が続いています。

活動の中でも頻度が多い内訳に、「指導者養成」と「トレセン活動の整備」があげられますので、報告させていただきます。

指導者養成に関しましては、大前提として『B級スタンダード』があります。そのためにFAで開催している指導者養成講習会がそれぞれあり、D級講習会では、4種のベンチ入りに必須のライセンスとなるため、通常年2回のFAコースに加えて、5地区での開催も合わせて実施しています。私自身も湖南コースではエデュケーションマスターとして参加しました。今後も開催を希望する地区毎に実施計画を立てています。C級講習会でも年2回のFAコースに加え

て、教員コースや学生コースなどFA内の実状を踏まえ、カスタマイズしたコースを検討中です。B級講習会では、年々参加者が減少傾向にありましたが、今年度は京都FAとの共催という全国でも初めての試みで実施しています。また、ライセンス取得後の研鑽の場として指導実践型のリフレッシュ研修会を実施しています。

次にトレセン活動に関して、男子トレセンではU12～U16まで各カテゴリーで県トレセンが立ち上がっています。地区トレセンもU12とU14の5地区10カテゴリーで活動されています。県トレセンがビッグレイクを中心に月2回、B級ライセンス以上を保有するスタッフが、複数体制で常時トレーニングが行われているのに対して、地区トレセンのトレー

ニング環境はまだそこまで到っておりません。それでも地区トレセンの活動においても月2回のトレーニングを継続できているのは、本業を別に持ちながらも情熱によってご協力いただいている多くのスタッフがいてくれるからです。会場の確保やスタッフ体制など苦慮されている現状を鑑み、地区トレセンのトレーニング環境においても、活発で質の高いものになるように、努めていきたいと思っています。上記の指導者養成との連携で、有資格者を増やし、一部のスタッフに負担が偏らないように調整することや、種別やカテゴリーの枠を越えたスタッフ体制の構築を考えています。

また昨年よりFAコーチの活動を通じて、各年代の全国大会やエリートプログラム、世代別代表のトレーニングキャンプを視察する機会をいただきました。そして、関西事業ではU15関西女子トレセン、JFA事業では、ナショナルトレセン女子U14やU13関西のスタッフとして参加させていただきました。私自身もコーチングスキルをブラッシュアップするために日々学び続けています。これからもこれまで同様、FAコーチとして求められていることを理解し、現場で関わる皆様と一緒に力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

